

『野ざらし紀行』
 甲府 諏訪 塩尻 福島 馬籠
 伊賀上野 名張 竹の内 奈良 熱田神宮 名古屋 桑名 鈴鹿 水口
 伏見 鳴滝 京都 大津

四十一歳の時江戸から故郷の伊賀上野に向かう8月から翌年の4月までの約二千里もの長期の旅の紀行文でこの間に芭蕉は蕉風という彼ならではの俳諧の世界を確立します



今に残る芭蕉の足跡をたどり、俳句とともに三つの旅物語を楽しむ講座

松尾芭蕉

風流

不易流行

粹

紀行文学

地図・写真、典拠作品を資料にして読み進め、実際に行ってみたりして作品に親しみましょう。

豊橋 岡崎 鳴海 熱田 名古屋 桑名 日永 杖突 奈良

『笈の小文』

伊賀上野 名張 吉野 高野 山本 橋本 和歌山 明石 須磨

四十四歳の時伊賀に帰って翌年に和歌山・大和・須磨・明石などの旅の紀行文で散文の割合が今までの作品より多くそれになつていきます

『更科紀行』

高崎 軽井沢 小諸 坂城 善光寺 姥捨山 松本 洗馬 関ヶ原 垂水 大垣 岐阜 御崇 馬籠 妻籠 福島

四十五歳の時秋に名月を鑑賞するたために信濃国更科姥捨て山に更科紀行の紀行文です

講座：「松尾芭蕉の紀行文から無常観を学ぶ」